

## 国語科シラバス（第3学年）

### 指導の方針

#### ○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

文章の内容や表現の仕方を理解させるために、効果的な言語活動を行います。  
漢字練習や小テストを実施し、語句の知識を身につかせます。

#### ○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

根拠を明確にし、筋道を立てて自分の考えをまとめる、発表する等の学習活動を展開します。  
ワークシートを活用し、重点的に書く活動を取り入れ、自分の考えを表現する学習活動を展開します。

#### ○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

新授業六束を徹底して指導し、授業規律を確立させます。  
デジタル教科書などの視覚的教材を活用し、指導の工夫を図り、学習意欲を喚起させます。

### ● 評価の観点と評価規準

評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現 (話すこと・聞くこと・ 書くこと・読むこと)	知識・技能 (文法・漢字・言語 活動)
評価規準	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。	目的や場面に応じて、自分の考えや気持ちを明確に表現することができる。 話し手の考えや意見を聞いて、意図や目的を理解することができる。 伝えたい事実や事柄、考えをまとめ、材料を整理して適切に文章表現することができる。 文章に表れているものの見方や考え方を正しく理解し、自分のものの見方や考え方を広げることができる。	音声、語句、語彙、文法、漢字などの国語に関する知識を身につけ活用することができる。
評価方法	提出物、ノート記述 ポートフォリオ評価 漢字・文法の確認テスト	発言、スピーチ、聞き取りテスト 課題作文、ワークシート 定期テスト、小テスト、ポートフォリオ評価	漢字・文法の確認テスト、定期テスト 小テスト、ポートフォリオ評価

### 評価と評定の関連

※評定（5段階）は、各観点の評価（A<sup>マル</sup>O=5点、A=4点、B=3点、C<sup>マル</sup>O=2点、C=1点）をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表（例）のとおりです。

各観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	評定
A <sup>マル</sup> O A <sup>マル</sup> O A <sup>マル</sup> O	15点	A <sup>マル</sup> O A <sup>マル</sup> O A	14点			5
A <sup>マル</sup> O A A	13点	A A A	12点	A <sup>マル</sup> O B B	11点	4
A B B	10点	B B B	9点	B B C <sup>マル</sup> O	8点	3
B C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O	7点	C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O	6点	C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O C	5点	2
C <sup>マル</sup> O C C	4点	C C C	3点			1

第3学年 各学期の学習の内容とポイント

	学 習 す る こ と	学 習 の ポ イ ン ト
一 学 期	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「評価しながら聞く」</li> <li>・「説得力のある構成を考えよう」</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を選んで書こう</li> <li>・魅力的な紙面を作ろう</li> <li>・言葉を選ぼう</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界はうつくしいと」長田弘</li> <li>・「握手」井上ひさし</li> <li>・「学びて時にこれを習ふ」</li> <li>・「作られた「物語」を超えて」山極寿一</li> <li>・「実用的な文章を読もう」</li> <li>・「報道文を比較して読もう」</li> <li>・「俳句の可能性」宇多喜代子</li> <li>・「俳句を味わう」教科書資料</li> <li>・「私の一冊」を探しにいこう」</li> </ul> <p>【文法・漢字等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和語・漢語・外来語</li> <li>・熟語の読み方</li> <li>・文法の復習</li> <li>・硬筆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き手の立場になって、スピーチを組み立てていくことが大切です。</li> <li>○文章の形態により、読者に与える印象が異なることを知り、文章表現に生かします。</li> <li>○詩、小説では、いずれも表現に即して考えることが要求されています。作品中の言葉を手がかりにして、作者の思いや登場人物の心情を読み取っていきましょう。</li> <li>○俳句については、「有季定型」を理解し、季節感を大事にして味わってください。</li> <li>○「高瀬舟」は、読書教材として扱います。</li> <li>○文法はきまりや法則を覚えることが大切。</li> <li>○漢字は定期的に確認テストを実施します。</li> <li>○硬筆は、校内に展示します。優秀作品は市の展覧会にも出品します。</li> </ul>
二 学 期	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き上手になろう</li> <li>・音読 「古今和歌集 仮名序」</li> <li>・合意形成に向けて話し合おう</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの課題（読書感想文等）</li> <li>・論理の展開を整える</li> <li>・多角的に分析して書こう</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶」石垣りん ・「故郷」魯迅</li> <li>・「人工知能との未来」</li> <li>・「人間と人工知能と創造性」</li> <li>・「君待つと」万葉集等</li> <li>・「夏草一『おくのほそ道』から」松尾芭蕉</li> <li>・「初恋」島崎藤村</li> </ul> <p>【文法・漢字等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣用句・ことわざ・故事成語</li> <li>・漢字の造語力</li> <li>・文法のまとめ</li> <li>・書き初め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ会議でまとめた意見を基に全体会を開き、提案をまとめます。相手の主張を受け止めた上で、自分の意見を述べるのがポイントです。</li> <li>○説得力のある意見文を書く練習をします。論理の展開の仕方を工夫し、資料を引用して意見を主張する文章を書きます。</li> <li>○文学的文章の読解の総まとめとして、「故郷」に取り組みます。古文にしても、説明的文章にしても、それぞれが総まとめとしての位置にあります。古文については、これまでと同様に、音読・暗唱に取り組みます。</li> <li>○辞書や便覧を使って、慣用句の意味や使い方を調べ、自分で使えるようにします。</li> <li>○書き初めについては、硬筆と同様、優秀作品は市展に出品します。</li> </ul>
三 学 期	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接試験対策</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件作文対策</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「エルサルバドルの少女ヘスース」長倉洋海</li> <li>・「誰かの代わりに」鷲田清一</li> <li>・「わたしを束ねないで」新川和江</li> <li>・「温かいスープ」今道友信</li> </ul> <p>【文法・漢字等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の総まとめ</li> <li>・文法の総まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校入試の面接試験に備えます。</li> <li>○これまでの公立高校の入試で実施された条件作文の問題を研究します。</li> <li>○言葉の世界の確かさ、豊かさを味わい、人間や社会・自然について、ものの見方・考え方・感じ方を広げ深めていきます。</li> <li>○言葉の細部に目を向け、伝統的な言語文化の重要性に気づくことが大切です。また、社会の変化によって生まれる新しい語に対応できる力をつけることが大切です。</li> <li>○読解のまとめとして、実践問題を解いていきます。</li> <li>○文法・漢字は、練習問題に取り組みます。</li> </ul>